

## エルシーブイ FM 第 40 回放送番組審議会

1. 日時 2013 年 9 月 17 日 (火) 13 時 30 分から 14 時 30 分
2. 場所 諏訪市四賀 エルシーブイ株式会社 本社
3. 出席者 委員定数 6 名  
出席委員 6 名  
宮坂 徹 委員長  
佐久 秀幸 副委員長  
寺澤 信行 委員  
河西 秀樹 委員  
共田 武史 委員 (代理出席：河西雄一氏)  
宮坂 ちとせ 委員

放送事業者側 6 名	河口 譲	代表取締役社長
	吉澤 君弘	常務取締役
	伊藤 敏昭	取締役
	佐久 章展	放送制作部部長
	小池 利幸	放送制作部 FM 制作課長
	中島 裕子	放送制作部 FM 制作課

4. 議事次第
  - ・番組審議会 宮坂徹委員長より開会の挨拶
  - ・「はなびラジオ」「新作はなびラジオ」について審議

### 5. 議事の概要

#### 【審査番組】

交通状況・駐車場情報・チケット情報の提供を軸に、天気情報・JR 情報・高速道路情報なども合わせて伝えました。湖畔や会場周辺、JR 上諏訪駅からは中継をつなぎ詳しく伝えることができました。

8 月 15 日の花火大会中止決定後は、予定を変更して大雨に関する情報を提供しました。

STB チャンネル LCV-TV 714 では、両日とも会場周辺の映像とともに、スタジオ内の様子を映しながら放送しました。

「はなびラジオ」「新作はなびラジオ」に関する、主な意見としては

- ・ 災害放送は特に臨場感が伝わってきた  
大会中止後はすぐに災害放送に切り替えて放送していて良かった
- ・ リスナーとのコミュニケーションという意味でも、子どものインタビューは良かった
- ・ 車の中では情報を得ることができたので、地元局としての役割を果たしたと思う
- ・ 予期せぬことで情報が錯綜したと思うが、その中で良くやっていたと思う  
今回の経験を次に活かしてほしい
- ・ 番組は毎年恒例となり、内容が充実してきたし、説明も観光客に向けてわかりやすいものとなっていた
- ・ 大会中止後は車の中で聞いていたので、ラジオの重要さを感じた  
声が聞こえるだけで不安を解消すると感じた
- ・ 自分がラジオから得た情報を他の人にも伝えることができた
- ・ 今回の様な大雨の中では、ラジオを聞くことは難しかったのではないかと
- ・ 有料観覧席ではトラブルが起きたりするので、ラジオで注意を呼び掛けてほしい
- ・ 避難所でラジオが流せれば良かったのではないかと
- ・ 正確な情報が欲しいので、情報源についての案内や、情報入手の方法なども放送してみてはどうか
- ・ 行政や関係団体ともっと協力して、情報共有できれば情報が増えると思う
- ・ メッセージの送り方やアドレスをもっと簡単にしてほしい
- ・ 交通情報などは諏訪が中心だが、湖週の周辺情報もほしい

以上、各委員から多数のご意見を頂きました。